

「公社DX戦略2025～2026年度」

令和7年3月28日

(1) 会社のあるべき姿 (ビジョン)

東京都中小企業振興公社は、お客様に信頼され、効果的で質の高いサービスを提供できる総合支援機関を目指します。

(2) 会社の使命 (経営理念)

東京都中小企業振興公社は、企業経営に関する総合的な支援を通して、東京の中小企業の発展と地域経済の振興に貢献します。

(3) 職員のあるべき姿 (行動指針)

私たちは、公社の一員として中小企業の発展と地域経済の振興に貢献することを指名とし、以下の指針に従って行動します。

1. お客様に信頼され効果的で質の高いサービスを提供します。(感動)
2. 社会の変化を先取りし、新たな価値の創出に取り組みます(挑戦)
3. 効果・効率の視点から、たゆまぬ業務革新に努めます。(改革)
4. 高い倫理観を持ち、適正に業務を遂行します。(公正)
5. 中小企業支援のプロとして誇りを持ち、自己の研鑽に励みます。(向上)

(1) 社会の変化

【機会】

○組織運営

- ・企業が多種多様で様々な支援ニーズが存在
- ・多様な人材活用、職場環境ニーズへの対応

○事業運営

- ・国際情勢の変化（円安進行・サプライチェーン変化）
- ・DX、GX、生成AI等新技術による市場の拡大

【脅威】

○組織運営

- ・民間企業が、経営支援領域へ業務拡大（競争激化）
- ・生産年齢人口の減少による人材不足・流動化

○事業運営

- ・地政学リスク拡大（G7政治不安定、原材料高騰等）
- ・開業率が伸び悩み

(2) 顧客の変化

○支援対象企業の多様化

- ・業種構成の変化：製造業が減少、他業種が拡大
- ・規模の変化：スタートアップ、中堅企業等

○ネットワーク化の進展

- ・サプライチェーンの構造変化
- ・グローバル市場への進出

(3) 公社支援の方向性

○多様な企業に対する最適な個別提案

- ・経営課題をAI等の先端技術を活用して分析
- ・適切な支援メニューを効率的・自動的に提案

○東京の牽引企業に対する支援策の拡充

- ・地域の中心となる企業に重点支援
- ・成長モデル企業を創出・分析し、新たな施策を提案

(1) 変化対応にむけた会社の課題

- ① 業務の効率化 : 部門・事業別業務の標準化、デジタル化による効率化
- ② 情報の一元管理 : 部門・事業別システムのデータ一元化
- ③ データの活用 : 蓄積された企業情報・支援情報の更なる活用
- ④ DX人材育成 : デジタル化、データ活用を実現する人材の育成
- ⑤ セキュリティ強化 : 情報セキュリティ体制やシステム等の強化

課題の解決に向けた会社のDX方針

(2) 会社DXビジョン

会社DXビジョン

東京都中小企業振興公社は、DX推進によりデータ蓄積と活用を図り、多様化する都内中小事業者等の顧客に対し、成長段階に応じた様々な支援メニューを提供して、顧客の事業拡大を支援します。

4. DXビジョンを実現する戦略と具体的策（R7～8年度）

	戦 略	取組項目	成果指標	担当部署	実施時期
戦略1 「見直す」	○業務の標準化・効率化	○業務フロー等整備と機能別業務改善活動実施	○フロー作成数	○企画課及び各課	○R7年～ R8年度
戦略2 「共有する」	○情報基盤整備・システム間連携によるデータ共有	○顧客情報基盤の刷新	○新システムの運用開始	○企画課	○R7年～ R8年度
戦略3 「活かす」	○蓄積したデータの分析・活用及び施策立案	○データ利活用する知識研修等の開催	○研修の開催	○総務課	○R7年～ R8年度
戦略4 「育てる」	○DX人材の育成	○デジタルリテラシーの維持・向上	○デジタル資格取得割合：7割	○総務課	○R7年～ R8年度
戦略5 「守る」	○情報セキュリティ対策徹底による信頼性の向上	○情報セキュリティ強化にむけた組織体制・規程整備	①体制・規程整備完了	○企画課及び各課	○R7年度

